

記者発表（配付資料）				
月／日 （曜日）	担当部署 担当名	TEL	発表者 （担当班長名）	その他配布先
12月26日 （木）	疾病対策課 （感染症対策推進班）	（内線）3286 （直通）078-362-3213	疾病対策課 感染症対策官 臣永 和夫 （濱田 大輔）	—

インフルエンザの発生状況について（速報）

1 感染症発生動向調査について

兵庫県内の令和6年第51週（12月16日から12月22日）におけるインフルエンザの定点医療機関（県内約200か所）あたりの報告数（速報値）は46.65（報告数は9,237人）となり、警報レベルとなる30を超えました。

なお、全国の令和6年第50週におけるインフルエンザの定点医療機関（全国約5,000か所）あたりの報告数は19.06（報告数は94,259人）です。

流行の目安：1 定点あたりの報告数が1週間で1以上の場合

注意報レベル：1 定点あたりの報告数が1週間で10以上の場合

警報レベル：1 定点あたりの報告数が1週間で30以上の場合

なお、警報レベルを超えた後は10未満になるまで、警報レベルが継続

※ 報告数：各定点医療機関において当該期間に受診したインフルエンザ患者の人数。

2 インフルエンザに関する注意喚起について

県民のみなさまへ

インフルエンザの感染拡大防止には、次の点について注意することが大切です。

- 1 予防接種は、重症化予防などに有効な手段です。
- 2 手洗い、手指消毒、マスクの着用などを心がけましょう。
- 3 重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患を有する方や妊婦など）や小学生以下のこどもは、発熱などの体調不良時には、水分を十分に補給し、まずは、かかりつけ医等へご相談の上、受診してください。
- 4 受診の際には、マスクを着用するなど咳エチケットを守り、感染を広げないように注意してください。
- 5 基礎疾患のある方は、インフルエンザに罹患した場合の対応について、かかりつけ医師などと日頃からよく相談してください。

<参考>

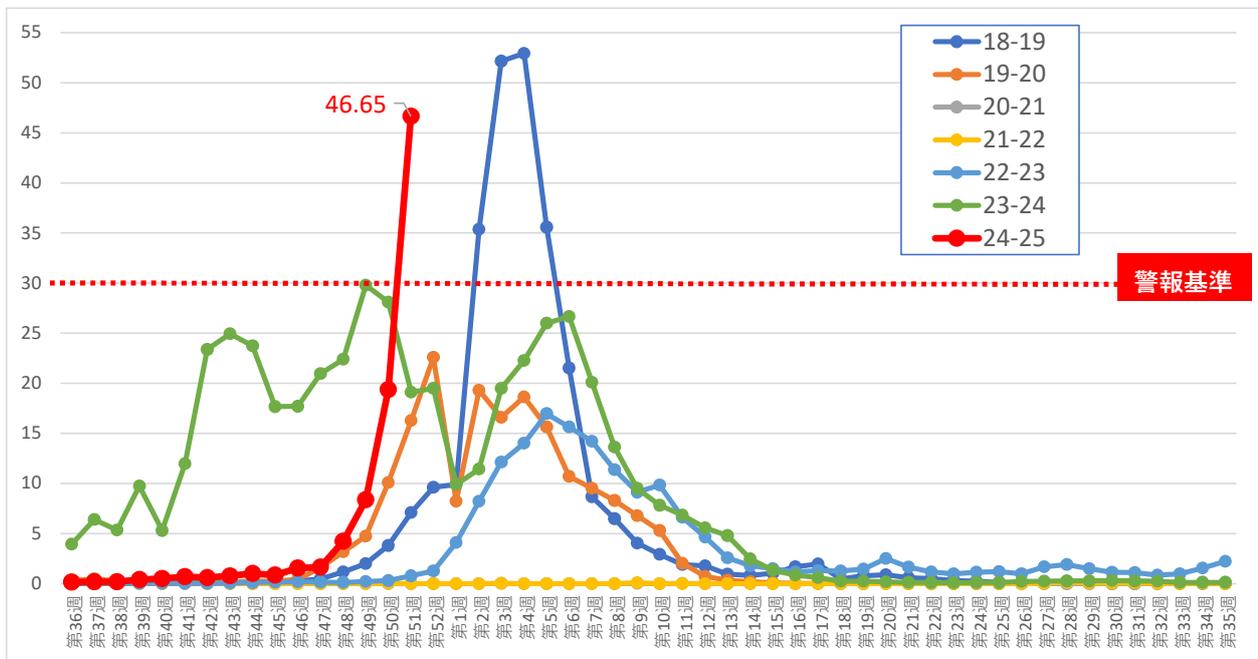
① インフルエンザの発生動向について

ア インフルエンザサーベイランスの状況（直近3週 月曜日～日曜日）

	定点数	第49週 (12/2～12/8)			第50週 (12/9～12/15)			第51週 (12/16～12/22)			
		報告数	定点あたり報告数	前週比	報告数	定点あたり報告数	前週比	報告数	定点あたり報告数	前週比	
健康福祉事務所	芦屋	3	24	8.00	↑	54	18.00	↑	121	40.33	↑
	宝塚	9	67	7.44	↑	150	16.67	↑	381	42.33	↑
	伊丹	12	124	10.33	↑	289	24.08	↑	707	58.92	↑
	加古川	14	196	14.00	↑	385	27.50	↑	931	66.50	↑
	加東	13	136	10.46	↑	312	24.00	↑	609	46.85	↑
	中播磨	2	15	7.50	↓	35	17.50	↑	117	58.50	↑
	龍野	8	58	7.25	↑	78	9.75	↑	226	28.25	↑
	赤穂	6	90	15.00	↑	232	38.67	↑	356	59.33	↑
	豊岡	8	48	6.00	↑	87	10.88	↑	261	32.63	↑
	朝来	3	9	3.00	↑	23	7.67	↑	148	49.33	↑
	丹波	6	8	1.33	→	36	6.00	↑	105	17.50	↑
	洲本	8	25	3.13	↑	93	11.63	↑	174	21.75	↑
神戸市保健所	48	377	7.85	↑	949	19.77	↑	2211	46.06	↑	
姫路市保健所	19	231	12.16	↑	423	22.26	↑	1084	57.05	↑	
尼崎市保健所	15	94	6.27	↑	317	21.13	↑	787	52.47	↑	
西宮市保健所	13	63	4.50	↑	142	10.92	↑	448	34.46	↑	
あかし保健所	11	101	9.18	↑	233	21.18	↑	571	51.91	↑	

イ 県内の流行状況の比較（過去5年間）

インフルエンザの定点当りの患者発生状況（県内）



② 兵庫県感染症情報センターでの情報提供について

県内のインフルエンザに関する定点医療機関あたりの患者数等の情報は、兵庫県感染症情報センターのホームページで毎週木曜日に更新し、公開しています。

URL : https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_ivoho/infectdis.html